



没後二十五年

心の鼓が
鳴りわたる

中川一政

画家・中川一政の
油彩、岩彩、書、陶器 創作への情熱

2016年
8月20日(土)～
10月23日(日)

前期 8月20日(土)～9月19日(月・祝)

後期 9月21日(水)～10月23日(日)

※作品保護のため、一部展示替えを行います

休館日: 9月20日(火)

開館時間: 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

観覧料: 一般800(600)円、

大高生500(400)円、

中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催: 公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

協力: 真鶴町立中川一政美術館

 香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART



「阿吽」1983年 真鶴町立中川一政美術館 蔵



「薔薇」1988年



「酒倉」1914年 真鶴町立中川一政美術館 蔵

無限に広がる命の輝きを描き、没後25年を過ぎてでもなお、私たちが魅了し続ける中川一政(1893-1991)。鮮やかでうねるような力強い筆致の薔薇や、風景などの連作で知られる洋画家ですが、表現者としての出発は、その才能を与謝野晶子、若山牧水らに認められた詩歌に始まりました。しかし、21歳の時に知人から贈られた油絵具で初めて描いた「酒倉(撰津深江)」が岸田劉生に認められたことが契機となり、画家を目指すことになります。また、雑誌『白樺』に紹介されたゴッホやセザンヌに触発されたことが、一政を絵画の世界に導く大きな要素となりました。その後も、油彩のみならず、随筆、装丁デザイン、岩彩、書、陶芸など多方面で活動し、1975年には文化勲章を受章しています。本展では、優れた墨蹟に對峙した瞬間を「心の太鼓が鳴りわたる」と語っていた一政の文字や造形に現れた作品65点を通して、画家・中川一政の創作への情熱に迫ります。

関連イベント

講演会 「中川一政の生涯と芸術」

8月28日(日) 午後1時~2時30分
講師:新井人志氏(真鶴町教育委員会 学芸員)
定員:50名 ※当日10時30分より整理券を配布します

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います

※講演会、ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です

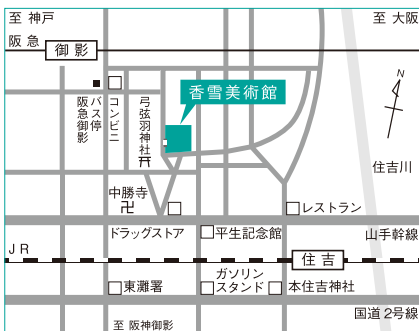
「織部彫文陶箱」
1982年



「茶杓」
1983年



「斑唐津黒茶碗」北村美術館 蔵



[交通案内]
阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分
※美術館には専用駐車場はありません。こま館は電車・バス等をご利用下さい

香雪美術館
KOSETSU MUSEUM OF ART
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel:078-841-0652
http://www.kosetsu-museum.or.jp

次回展「野々村仁清とその時代」
11月3日(木・祝)~12月22日(木) 休館日11/28(月)

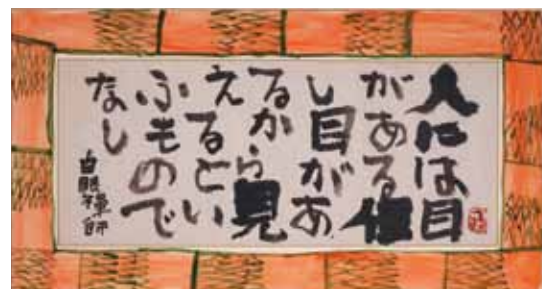
漢字サイン:「阿吽」より、ローマ字サイン:「鯛、寿」より
背景:「椿・イタリ壺」1981年より



「正念場」1989年 真鶴町立中川一政美術館 蔵



「魚・漕ぎいでて」1983年 真鶴町立中川一政美術館 蔵



「人には目がある 白眼禅師」